

介護実務者研修科①



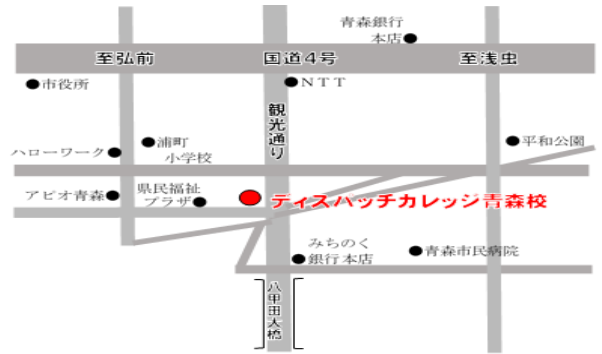
基本的な介護技術及び福祉用具に係る知識を習得し、在宅・施設を問わず介護関連業務を行う知識と技能の習得を目指します。



訓練内容

募集案内

資格取得目標	介護福祉士実務者研修了 福祉用具専門相談員	定員	20名
カリキュラム	※詳細は募集案内の裏面をご参照ください。	受講料	無料
訓練期間	令和元年5月8日(水)～ 11月7日(木) 【6か月】	自己負担額	◇テキスト代:約16,000円 ◇駐車料:3,000円/月額 ◇職業訓練生総合保険:4,800円/6か月 (施設実習があるため加入必須です。) ◇施設実習前に健康診断が必要ですが、詳細は訓練初日のオリエンテーション時に説明しますので、事前に行う必要はありません。 実費負担となり、金額は実施機関により異なります。
訓練時間	午前9時～午後4時		
訓練場所	ディスパッチカレッジ青森校 住所:青森市中央3-20-26 電話:017-718-1541 駐車場:有り(台数に制限が有ります)		



応募方法

対象者	公共職業安定所に求職申込みを行っている方で、公共職業安定所長の受講指示・受講推薦・支援指示を受けた方。	募集期間	平成31年3月4日(月)～ 4月17日(水)
提出書類	受講申込書(各公共職業安定所・ハローワークがプザにあります)	選考方法	訓練の必要性等を総合的に勘案し書類選考します。
提出先	各公共職業安定所 ハローワークヤングプラザ(45歳未満の方)	選考結果	本人あてに郵送により通知します。 【31年4月25日(木)発送予定】

※当該訓練は、県予算の審議状況・訓練希望者の応募状況により実施されないことがありますので予めご了承ください。

お申し込み
お問い合わせ

ハローワーク青森 017-776-1561
ハローワーク弘前 0172-38-8609
ハローワーク野辺地 0175-64-8609
ハローワーク五所川原 0173-34-3171
ハローワーク黒石 0172-53-8609
ハローワークヤングプラザ 017-774-0220

実施主体

青森県立青森高等技術専門学校
青森市大字野尻字今田43-1
017-738-5727

介護実務者研修科① 委託訓練カリキュラム

事業名	離職者等再就職訓練事業		コース名	知識等習得コース
訓練科名	介護実務者研修科①		定員	20名
訓練期間	令和元年5月8日(水)～令和元年11月7日(木) 6ヶ月		前年度就職率	100%
想定就業先	介護関連施設、医療機関及び福祉用具貸与・販売事業所等			
訓練目標	介護利用者に対する基本的な介護技術及び福祉用具に係る知識を習得し、在宅・施設問わず介護関連業務を行う知識と技術を習得する。			
就職支援概要	①訓練期間中3回のキャリアコンサルティング実施 ②履歴書・職務経歴書・送付状作成の仕方 ③面接マナー、模擬試験 ④電話の受け方・かけ方、携帯電話のマナー ⑤ビジネスメールの特徴、基本的な文書 ⑥仕事の進め方と自己啓発・報告、連絡、相談 ⑦メンタルヘルス ⑧労働者の権利と義務等 ⑨接遇、ビジネスマナー			
資格取得	取得を目指す資格:介護福祉士実務者研修修了、福祉用具専門相談員 取得可能な資格:介護福祉士実務者研修修了、福祉用具専門相談員			
科目	教科の内容			時間
学 普 科 通	1	就職支援	履歴書の作成、自己PR、キャリアコンサルティング等	30
	小 計			30
学 科	1	職業能力基礎講習	自己理解、仕事理解、職業意識、職場内のコミュニケーション、聴き方・話し方、ビジネスマナー	6
	2	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	6
	3	社会の理解Ⅰ	介護保険制度	6
	4	社会の理解Ⅱ	生活と福祉、社会保障制度、障害者自立支援制度、介護実践に関する諸制度	36
	5	介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理	12
	6	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全	24
	7	コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	24
	8	介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ	24
	9	介護過程Ⅱ	利用者の状態(障害、要介護度、医療依存度、居住の場、家族の状況等)における事例、事例における介護過程の展開、観察のポイント、安全確保・事故防止、家族支援、他機関との連携考察	30
	10	介護過程Ⅲ	介護過程の展開の実際	30
	11	発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響	12
	12	発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点	24
	13	認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本	12
	14	認知症の理解Ⅱ	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際	24
	15	障害の理解Ⅰ	障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害児者や家族へのかかわり・支援の基本	12
	16	障害の理解Ⅱ	医学的側面から見た障害の理解、障害児者への支援の実際	24
	17	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)	60
	18	こころとからだのしくみⅠ	介護に関係した身体の仕組みの基礎的理解(移動・移乗、食事、入浴、清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔)	24
	19	こころとからだのしくみⅡ-1	人間の心理、人体の構造と機能	48
	20	福祉用具と福祉用具専門相談員の役割	福祉用具の役割、福祉用具専門相談員の役割と職業倫理	4
	21	介護保険制度等に関する基礎知識	介護保険制度等の考え方と仕組み、介護サービスにおける視点	6
	22	高齢者と介護・医療に関する基礎知識	からだとこころの理解、リハビリテーション、高齢者の日常生活の理解、介護技術、住環境と住宅改修	22
	23	個別の福祉用具に関する知識・技術	福祉用具の特徴	10
	24	福祉用具に係るサービスの仕組みと利用の支援に関する知識	福祉用具の供給の仕組み、福祉用具貸与計画等の意義と活用	9
	25	福祉用具専門相談員修了評価	確認試験等	2
	26	事後演習	修了評価	5
小 計			496	
学 科 計				526
実 技	1	生活支援技術Ⅰ	生活支援とICF、ボディメカニクスの活用、介護技術の基本(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等)、環境整備、福祉用具の活用等の視点	24
	2	生活支援技術Ⅱ	利用者の心身に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清掃、睡眠、終末期の介護)	38
	3	介護過程Ⅲ	介護過程の展開の実際、介護技術の評価	24
	4	こころとからだのしくみⅡ-2	人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清掃、睡眠、終末期の介護)	24
	5	医療的ケア演習	喀痰吸引演習(口腔、鼻腔、気管カニューレ内部)、経管栄養演習(胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養)、救急蘇生法演習	18
	6	個別の福祉用具に関する知識・技術	福祉用具の活用	10
	7	福祉用具の利用の支援に関する総合演習	福祉用具による支援の手順と福祉用具貸与計画等の作成	6
	8	事前演習	施設実習に向けての心構え	1
	9	施設実習	施設・居宅型実習	36
実 技 計			181	
総 合 計				707